

学校教育目標	学校教育目標「共に生きる」の達成を目指し、そのために生徒に身に付けてほしい力を5つの視点で表し、相互に関連付けながら育てていきます。 ○探求する心と学び続ける力(知) ○優しい心としなやかに生きる力(徳) ○健やかな心と体(体) ○社会のために協働する力(公) ○未来を切り拓いていく力(開)					
	学校概要	創立 76 周年	学校長 続橋 正寿	副校長 新島 隆	2 学期制	一般学級: 27 個別支援学級: 4
児童生徒数: 1057 人		主な関係校: 日吉台小・日吉南小・矢上小・北綱島小・箕輪小				

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	〇〇中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける育成を目指す資質・能力を踏まえた「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<ul style="list-style-type: none"> ○学びに向かう力 ○社会に適應する力 ○生きがいを見出す力 	日吉台中学校ブロック	<ul style="list-style-type: none"> ○「笑顔」—自己の良さに気づき、友達の良さも認め合える子 ○「まじめ」—進んで他者とかかわり合い、地域に生きる ・本校で実施するブロック内小学校への公開授業及び研究協議を更に充実させる。 ・小中交流日を中心に児童・生徒の交流の場を設定する。 ・各小学校に生徒会役員が出席向いて行うガイダンスを更に充実させる。

中期取組目標	<p>社会に貢献する一員として、自分らしさを発揮し、生きがいと誇りをもって、幸せに生きる人の育成を目指し、中学校3年間、生徒に次のことを意識させていきます。</p> <p>「気づき考える」「自分で決める」「進んで行動する」そのために「失敗を恐れず、挑戦し続ける」</p> <p>このことを推進するための日吉台中学校教職員の心構えは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「傾聴」「受容と共感」を大切に、生徒理解に努めます。日頃から生徒の良いところを「認めて褒める」ことを実践します。自己決定を促します。指導が必要な場面でも説得ではなく、納得を引き出す指導、支援に努めます。 ・「率先垂範」「凡事徹底」を常とし、教職員は、生徒にとって生きる良いモデルになるように努め、人間力を育みます。
--------	--

重点取組分野	具体的取組
知 確かな学力	①小中一貫教育推進ブロック授業研で全教科の授業公開を行うこと、ICT教育の充実を図ると共に授業づくりの視点を共有する。②「授業を見合う週間」と授業研究会を連動させ、持続可能な授業改善の方策を確立する。③新学習指導要領に基づいて、「指導と評価の一体化」を推進する。
徳 豊かな心	①生徒の主体性を伸ばしていくために、生徒会活動や学級活動を活発に行い、主体性を引き出し、協働する素晴らしさを多く体験させる。 ②道徳の授業研究を深め、心の葛藤や多種多様な価値観に触れることにより豊かな経験をさせる。
体 健やかな体	①体育祭や球技大会等の体育的行事を計画的に行うことにより、生徒の運動や体力づくりに対する関心を高めたい。 ②新体力テストの結果等を活用し、自己の体力を分析することや、体力向上と生涯スポーツの視点ももちながら部活動のあり方を見直し、計画的に取り組む。
公開 キャリア教育	・1年で「まちの先生」、2年で「SDGs」や課題解決学習、を通して自分自身のより良い生き方や考え方を学び、3年で自分の今後の進路を考える進路学習を実施し、自己決定を目指した進路実現に向けての実践力を発揮できるよう指導していく。
いじめへの対応	・毎朝の情報交換連絡会で情報交換を行い、組織としていじめの早期発見、未然防止に取り組む。 ・配慮が必要な生徒の共有化を図り、組織として具体的な支援を行う。 ・年度初め、長期休業後に教育相談の時間を設け、生徒の変化や困り感等に寄り添えるようにする。
人材育成・組織運営(働き方)	①傾聴を心掛け、教職員の思いや考えを最大限尊重しながら、良さを認めて「任せて褒めて伸ばす」ことを実践します。 ②情報交換連絡会等を更に機能化して、ミドルリーダーの主体性を引き出し、課題解決に向けて組織的に取り組むことを推進します。 ③目的と効率の視点を大切にし、教育活動の質を担保した上で、更なる業務の精選及び効率化に努め、子どもと向き合える時間の確保を推進します。
特別支援教育	①特別支援コーディネーター会議を生徒指導指導部全体会の後に必ず開催し、課題を具体的に検討し配慮事項を実践していく。②特別支援教室(study room)を利用する生徒の個別支援計画を学級担任に作成してもらい、特別支援を必要とする生徒の実態を全職員で共有していく。③特別支援教室(study room)
生徒の主体的な活動	①生徒会活動における課題の発見で留まらず、改善・向上を目指すために自発的に取り組むよう指導していく。②生徒一人一人が活躍できる場や機会を意図的に、計画的に設定する。③活動後には、自分の活動の成果や互いの活動の感想を述べたり書いたりする振り返りの場を積極的に設定する
生徒指導	・教育相談を充実させ、生徒・保護者の思いに寄り添った支援を心がけ、いじめ等の未然防止に全教職員で取り組む。 ・生徒指導に対して、情報収集や教職員の連携を大切に、迅速な対応を行えるようにしていく。 ・生徒たちとの日頃からのコミュニケーションを重視し、より良い学校生活とは何かを考え、目指していく。
地域連携	・令和4年度発足した学校運営協議会や学地連総会等の機会を有効に活用し、地域とさらなる連携を図り、開かれた学校運営を推進していく。
担当	学地地連・管理職